

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社Sea Four

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営者は会社としての目標及び社会における会社の役割等を職員に説明し、共有している。								8	9													17								
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守について研修を実施し、職員に重要性を発信している。 ・コンプライアンスについての相談窓口を設置している。																						16								
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為（汚職・贈賄収等）を禁止する社内規定を策定している。 ・職員へは、社内規定を用いて、朝礼等で重要性を発信している。											10											16								
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社外からのコンプライアンスの窓口を設置しており、事業活動が社内・環境に及ぼす影響を第三者の目線で把握している。																						16								
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・研修及び勉強会へ参加し、社員に周知するよう取り組んでいる。								8.2 8.3	9													16								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・研修会を計画的に実施し、個人情報保護の重要性の発信し、個人情報漏洩防止に取り組んでいる。																						16								
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・各事業でお客様に定期的にアンケート等を実施し、思いや要望、改善して欲しい項目等、都度把握できるように取り組んでいる。																				16		17								
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10			12	13	14	15	16			17									
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		【予定】 ・令和6年3月までにBCPを策定し、訓練を実施する。 ・災害に対する備品の直しや各機器（発電機や蓄電池）の取り扱い方法を訓練する。										9		11								13.1		16	17							
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9												17								
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2															5	8			12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・管理職は男性女性の割合がほぼ均等であり、性別関係なく意見を挙げやすい体制を構築している。 ・ハラスメントについて研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3												16.1 16.2 16.7								
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・職員の心身状態の管理を可能な限り把握できるように、管理職の教育や体調不良時に休みやすい環境作りを行っている。			3					8.8																						
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・職員（正社員・パート社員）の公正な待遇を行っている。 ・同一労働同一賃金ガイドラインを認識したうえで、社内体制設備運営を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3																				
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や有給休暇取得奨励に取り組んでいる。 ・業務過多がないか都度管理者が見直しや業務時間外に支障がないか直接職員から聴取等を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3																				
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研鑽を奨励しており、研修費用や資格取得時の費用等は会社が負担している。 ・各事業所で適切なマネジメントが可能な管理職の指導教育を実施している。				4	5.5			8	9																					
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・福利厚生の一環としてリハビリ職種から身体のマッサージができる環境作り等を行っている。 ・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。			3					8														17								
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・幹部から管理職まで差別的待遇はない。 ・【予定】令和5年7月までに障がい者の雇用を予定している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3												16.7								
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ネット環境の整備を行い、テレワークやウェブ会議を導入している。			3					8	9.1		11	12																		
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・サービスによる記録を一部電子化し、携帯からも入力できるように環境整備を行っている。								8	9.1		11	12																		
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9					12															

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社Sea Four

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な管理処理を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・太陽光発電及び蓄電池を設置し、エネルギー削減に取り組んでいる。また日中は電気の使用は抑える等、節電に取り組んでいる。 【予定】 ・令和6年3月までに簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出し、把握する。							7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・公用車の排出量の把握及び使用を最低限に抑えCO2排出抑制に取り組んでいる。 【予定】 ・令和6年3月までに簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出し、把握する。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・食器は陶器製を使用することで廃プラやレジ袋の減少及び削減に取り組んでいる。						6.6									14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・ごみの中身を確認し、リサイクルできるものがないのか検討し、ゴミの量の削減を促進している。 ・印刷時は裏紙を促進している。または両面印刷を促進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「排泄物の混じった汚水は汚物処理室での適切な処理」等を実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・再生用紙利用を推進している。 ・印刷時は裏紙を促進している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・施設のお客様への食事は、既に調理された料理を湯煎し提供しており、料理の作り過ぎによる廃棄物の削減に取り組んでいる。	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光パネル及び蓄電池を設置したり、各部屋の節電に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.17	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 株式会社Sea Four

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																																											
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																											
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・サービス提供内容や質の向上のために、アンケートを実施し、お客様の意見を収集し改善に努めたり、相談窓口を設置している。			3.9							9				12.4																														
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・施設には、スロープの設置や段差をなくすなどの、ユニバーサルデザインを取り入れている。										9.1	10	11.7								17																								
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・施設での食事提供の際に使用するお米は山鹿市ものを使用している。								7.3	8	9				11.a	12.3	13	14	15		17																								
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●											7						12.2	13.1		15																									
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●																																													
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●																																													
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		【予定】 ・令和6年3月までに自治活動や防災活動等へ参画する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																											
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・防災避難訓練を定期的実施している。 ・施設にて防災グッズを常備している。 ・防災の対策について研修を実施し、職員に発信している。				4													11.5		13.1		16																							
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・施設周辺ではAEDを設置している場所が少ないため、施設内に外部の方も使用できるようにAEDを設置している。	1.5			3	4											10.2	11.5			13.1		16	17																					
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●																			9				11	12	13.1																				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●																									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4														8.6														10.2							17				
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●																																					8.5	8.6							
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●																																														

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。